

# 道路空間活用WGのとりまとめ(案)

# 歩行者空間創出について

---

# 歩行者空間創出について

## ◇ 取組の背景 ◇

- 東京が成熟都市としての魅力を高めるためには、さまざまな人が集まる都心部や主要ターミナル駅周辺などまちの中心部において、快適でゆとりある歩行者空間を創出していくことが重要である。
- 国内各地で歩行者空間創出の取組が進んでいる。東京都においても、例えば大手町、丸の内、有楽町地区では、地区内の道路を時間帯により通行止めとし、歩行者に配慮した空間を創出している。また、新虎通りでは、幅員の広い歩道を活かしてオープンカフェを展開するなど、快適な歩行空間を確保し、新たな賑わいを創出している。

## ◇ 取組の背景(歩行者空間の創出の取組の歴史) ◇

### 1970年代～ 歩行者天国の実施

- 北海道旭川市「平和通」で初めての社会実験(S44)
- 銀座、新宿、池袋、浅草で実施(S45)
- 北海道旭川市「平和通買物公園」で 恒久的歩行者天国の開設(S47)
- 神奈川県横浜市「イセザキモール」恒久的歩行者天国の開設(S53)
- 東京都八王子市「ユーロード」恒久的歩行者天国の開設(S62)
- 日本橋「仲通り」(H27)

### 2000年代～ オープンカフェの実施

- 広島市「平和大通り」で公開空地を活用した初のオープンカフェ事業(H10)
- 国による全国での社会実験実施(H13～H17)
- 千代田区「丸の内仲通り」公開空地活用(H16)
- 新宿区「モア4番街」道路占用許可の特例を初めて適用(H24)
- 港区「新虎通り」(H26)
- 大丸有、新宿副都心、大崎、蒲田等で国家戦略特区による実施(H27)

### 社会情勢

- 1960～70年代にかけて、自動車の急増が世界的問題となり、欧米をはじめとして市内中心道路を歩行者専用道路(カー・フリー・ゾーン)とする政策実施
- 日本でも自動車の急増による事故や環境問題への配慮により、道路交通を車優先から歩行者中心の交通への転換が求められる
- 都市の魅力創出、地域振興のための道路空間活用への期待が高まる
  - 「道を活用した地域活動の円滑化のためのガイドライン」の策定(H17)
  - 都市再生特別措置法の一部改正による「道路占用許可の特例制度」(H23)

# ◇ 取組の背景(歩行者空間の創出の現状) ◇

## 大丸有



【実施主体】大丸有 公的空間活用モデル事業実行委員会 等

## <都心エリアの取組>

## 日本橋



【実施主体】地元事業者 等

## 新橋・虎ノ門



【実施主体】新虎通りエリアマネジメント協議会 等

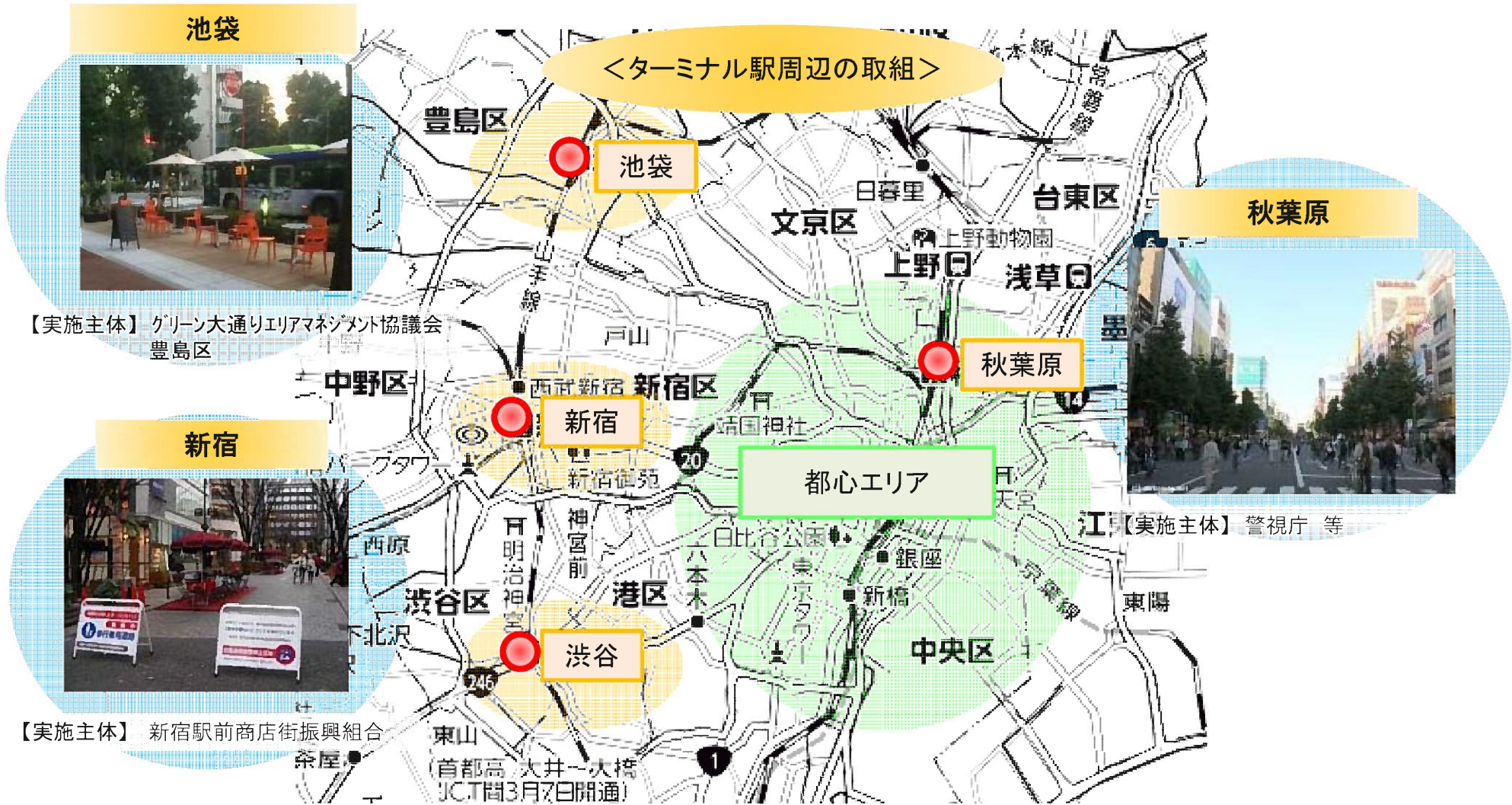
## 銀座



【実施主体】警視庁 等



## ◇ 取組の背景(歩行者空間の創出の現状) ◇



## ◇ 取組の概要 ◇

- 2020年大会、更にはその先に向けて、地元区市等と連携し、成熟社会にふさわしい賑わいのある歩行者空間の拡大を促進していく。

## ◇ 歩行者空間創出の進め方 ◇

### (1) 個々の地区での取組

池袋、新宿などでは、歩行者空間創出に取り組む地元区市の検討の場に都も参画し、他地区の取組の現状や課題などの情報提供を行うことにより、技術的支援を行う。

### (2) 取組の拡大

区市と都の連絡会を設置し、この会を通じて、現在取組が無い区市に対して他地区の取組の現状や課題などの情報提供を行うことにより、都が技術的支援を行い、取組の拡大を図る。

### (3) 地区間連携による共同PR

都は、歩行者空間創出に取り組む民間団体などとの連携による共同PRを行う。

- 各イベント（丸の内仲通り、日本橋仲通り、新虎通りなど）や、各地区の取組（社会実験など）を都市整備局HPに掲載する。
- 各イベントを同時期に開催するための調整や、それらをウォークイベントに組み入れることを働きかける。 など

# (1) 個々の地区での取組

- 池袋、新宿などでは、2020年に向けて地元区市等が出来る項目から検討を行い、検討の場に都も参画し、他地区の取組の現状や課題などの情報提供を行うことにより、技術的支援を行う。

## 歩行者空間創出における検討項目(例)

### 歩行者空間計画

- 荷さばき集約化の検討
- 路上駐車削減の検討
- 車両の流入抑制に向けた交通量予測
- 駐車場整備計画の策定 など

### サインの整備

- サインの配置計画
- 配置の連続性や情報の整合性に留意
- 様々な案内サインが存在する場合の調整  
〔産労局の観光案内サインや誘導サイン〕  
〔区やエリマネ団体独自のサイン〕 など

### 空間整備

- 路面のカラー舗装
- 段差解消、歩道の横断勾配改善
- 車止め、ハンプ、シケイン など

### にぎわいの創出

- オープンカフェの実施
- マルシェ、イベント等の実施 など

### 取組PR

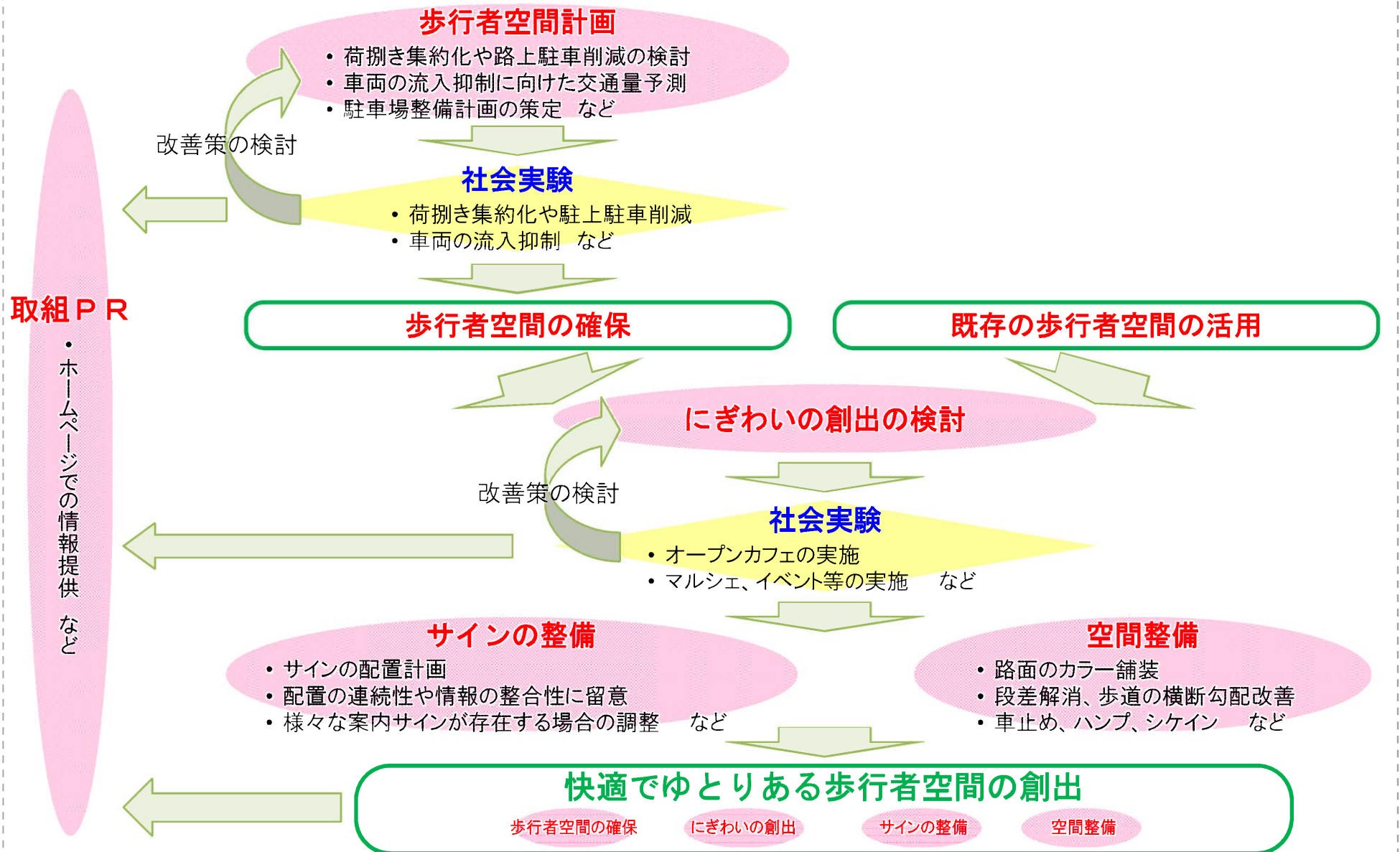
- ホームページでの情報提供 など

地元商店街や  
エリマネ団体との連携

都の技術的支援

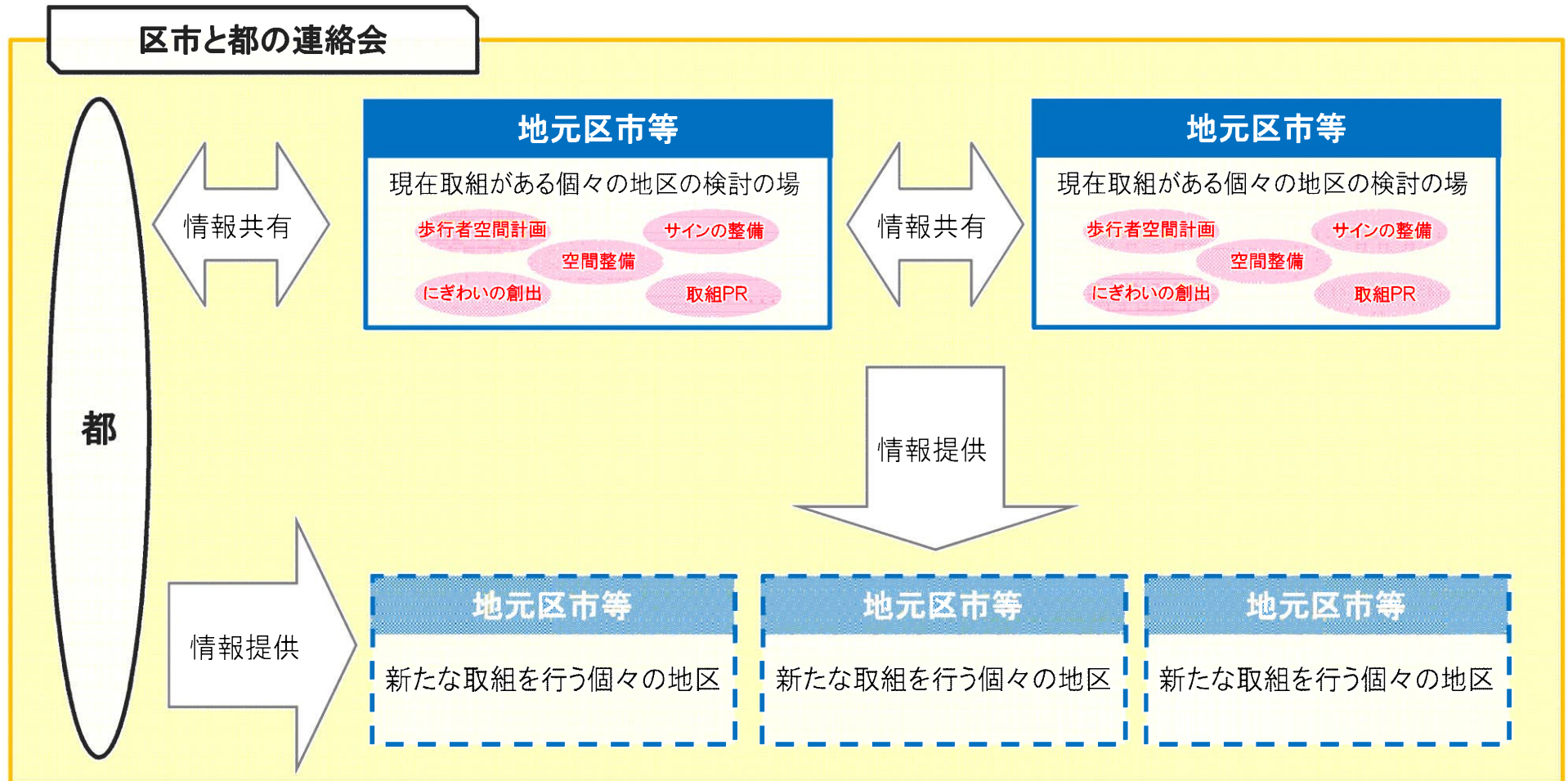


## 歩行者空間創出における検討フロー(例)



## (2) 取組の拡大

- 区市と都の連絡会を設置し、この会を通じて、現在取組が無い区市に対して他地区の取組の現状や課題などの情報提供を行うことにより、都が技術的支援を行い、取組の拡大を図る。

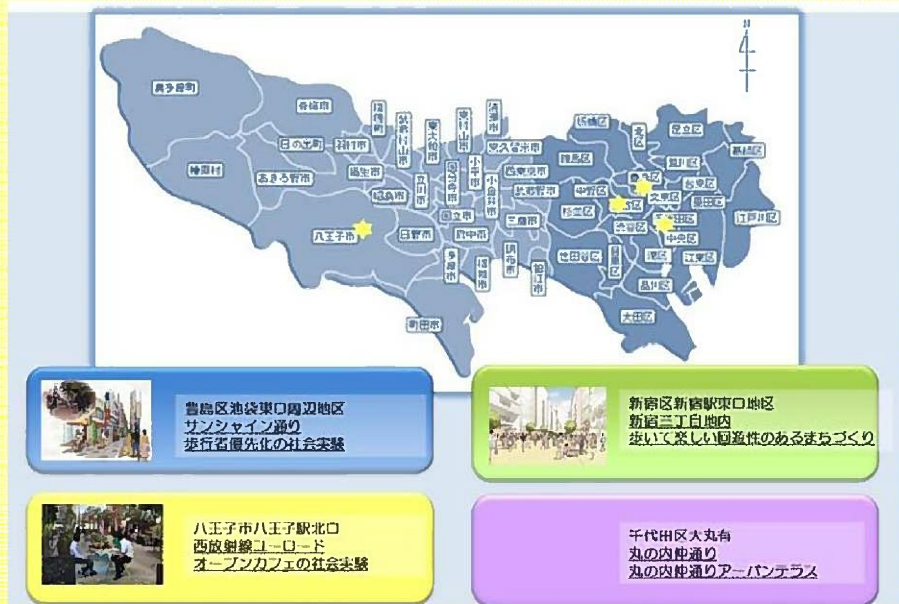


# (3) 地区間連携による共同PR

## 都による民間団体などとの連携

- 各イベント（丸の内仲通り、日本橋仲通り、新虎通りなど）や、各地区の取組（社会実験など）を都市整備局HPに掲載する。

- 打ち水などのイベントを同時期に開催するための調整や、それらをウォークイベントのルートに組み入れることへの働きかけなど、イベントと連携したPRを行う。



ホームページのイメージ



打ち水イベントの例

(出典:ECOZZERIA(大丸有サステイナブルポータル)HP)



打ち水イベントの例

(出典:打ち水大作戦2016HP)



ウォークイベントの例(出典:TOKYOウオークHP)